

令和7年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立田無第四中学校	校長名	古家 新一
-----	--------------	-----	-------

教育理念及び教育目標

私たちは、憲法と教育基本法の精神に則り、平和で民主的な明日の日本を背負う人間の育成を目指して次の目標を定める。

- ・すすんで学び、しっかりした学力をつけよう。（「問題解決力」の育成）
- ・丈夫な体をつくり、豊かな情操を身につけよう。（「実践力」の育成）
- ・友達を大切にし、仲間の輪をひろげよう。（「人間関係形成力」の育成）
- ・目標を決め、深く考えて、最後までやりぬこう。（「深く学ぶ力」の育成）

学校の特徴

- 1 ユニバーサルデザインの考え方を学習活動や教育環境に取り入れ、誰もが分かりやすい授業、過ごしやすい学校環境づくりに取り組んでいる。
- 2 教育相談を重視し、発達支持的生徒指導を基盤とした取り組みを行っている。
- 3 学校生活の中でポリティカル・コレクトネスを意識し、人権感覚を涵養し、一人一人の意思や考えを尊重する指導に取り組んでいる。
- 4 G I G Aスクール構想の実現に向け、授業改革とデジタル・シティズンシップ教育を推進している。
- 5 デジタルを活用したこれからの学びを推進し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていくことに努めている。
- 6 民生委員・主任児童委員や青少年育成会、地域協力者、P T Aとの連携を深め、共に育てるという考えのもとに、信頼される学校づくりに努めている
- 7 数学科の少人数教育に取り組んでいる。
- 8 オンラインを活用した教育活動と、学年を単位とした行事を推進している。

目指す学校像（学校像、児童・生徒像、教師像）

- 1 目指す田無四中の姿
 - （1）温かく、活気溢れる学校
 - （2）生徒、教職員の個性を生かす学校
- 2 目指す四中生の姿
 - （1）自ら学び、自らを治める生徒
 - （2）自己実現に向けて挑戦し、やりぬく生徒
- 3 目指す教職員の姿
 - （1）生徒に寄り添い、挑戦を支援する教職員
 - （2）自ら学び、生徒とともに歩む教職員

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題） 3年間

- (1) 確かな学力の定着を目指し、自ら学ぶ態度の定着を図る。
- (2) 豊かな心の育成を目指し、自他ともに尊重する心と態度をもった生徒を育てる。
- (3) 人と人とのつながりを重視し、個に応じた教育を推進する。
- (4) 保護者・地域との連携を深め、地域社会全体で生徒を育てる環境づくりを目指す。
- (5) 教育公務員として研修に励み、法を遵守し職務の遂行にあたる。

2 短期経営目標（1に基づく本年度の重点目標） 1年間

- (1) 教育活動全般を通して生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
- (2) 情報リテラシーを育み、デジタル・シティズンシップ教育を推進する。
- (3) 「西東京ふるさと探究学習」を通じて、探究的に勤労観・職業観を育む。
- (4) カリキュラムマネジメントの視点を取り入れ、探究的に学べる単元開発を行う。
- (5) 教育の専門職として求められる授業力および生徒指導力の研鑽に励む。

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

1 確かな学力の向上

- (1) カリキュラムマネジメントを意識、ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境と指導方法で単元を構成し、授業を実施する。
- (2) ねらいを明確にし、問いや学習活動を工夫し、ふりかえりによる学びの定着を図る。
- (3) 考える、話し合う、タブレットを活用して視覚化する、発表する等のGoogle Workspaceを活用した探究的な学習の充実を図る
- (4) ICT機器、デジタル教科書、MEXCBT等を活用し、デジタルの強みを生かした授業改善と教材開発に取り組む。

2 豊かな心の育成

- (1) 特別の教科 道徳を中心に、人権や命の大切さについて考え、議論させ、学ばせる。
- (2) 「自治」を意識した行事や生徒会活動・奉仕活動などの諸活動を通して、学級、学年、学校、地域への所属感や自己有用感を育てる。
- (3) 地域の人材や資源・文化等を活用した体験的で探究的な学びを展開する「西東京ふるさと探究学習」としての職場体験を実施し職業観、勤労観とともに、集団の中の個の役割について学ばせる。
- (4) コミュニケーション力とネットリテラシーを高め、インターネット等の自律的な利用を通じて積極的に社会に参加し、貢献するための知識や能力を育む。

3 個別最適化な学びの指導

- (1) 西東京あったか先生として様々な場面で生徒に寄り添い、教育相談活動を充実させ、生徒の心の支援に取り組む。
- (2) 東京都教育委員会・西東京市教育委員会研究奨励校として、「デジタルを活用したこれからの学び」の研究に積極的に取組、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業改革を推進する。
- (3) 3年間を通して生徒が将来の進路について考え、自ら切り拓いていく力を育てる。

4 保護者・地域との連携

- (1) SDGsの実現に向けて、教育内容や取組についてデジタルメディアを中心に積極的に発信するとともに、奉仕活動等を通して地域との連携を深める。
- (2) 保護者との連絡は適切に行い、連携を深めながら生徒の育成を図る。

5 教育職としての研鑽

ESDと自身のライフワークバランスを意識しながら、学習指導要領と生徒指導提要の理念の実現に向けた研修・実践に励む。